

川俣正 北海道インプログレス 「三笠プロジェクト 2012」 制作プログラム参加者募集

「三笠プロジェクト」は、美術家 川俣正が 2011 年にスタートさせた北海道全域で展開するアートプロジェクト「北海道インプログレス」の拠点づくりを目的に、北海道三笠市の廃校（旧美園小学校）を活用し様々なアート活動を行うプロジェクトです。川俣正が来道し、体育館全面に「かつての炭鉱町の風景をモチーフとした巨大なインスタレーション」の制作を行いますので、制作を手伝ってくださるボランティアスタッフを募集します。

● 期間：2012年7月8日（日）～14日（土）

※作業は AM10:00～PM6:00 の予定です。また、7/14 は午後から作品の公開イベントを予定。

● 場所：旧美園小学校 体育館（三笠市美園町 62-1）

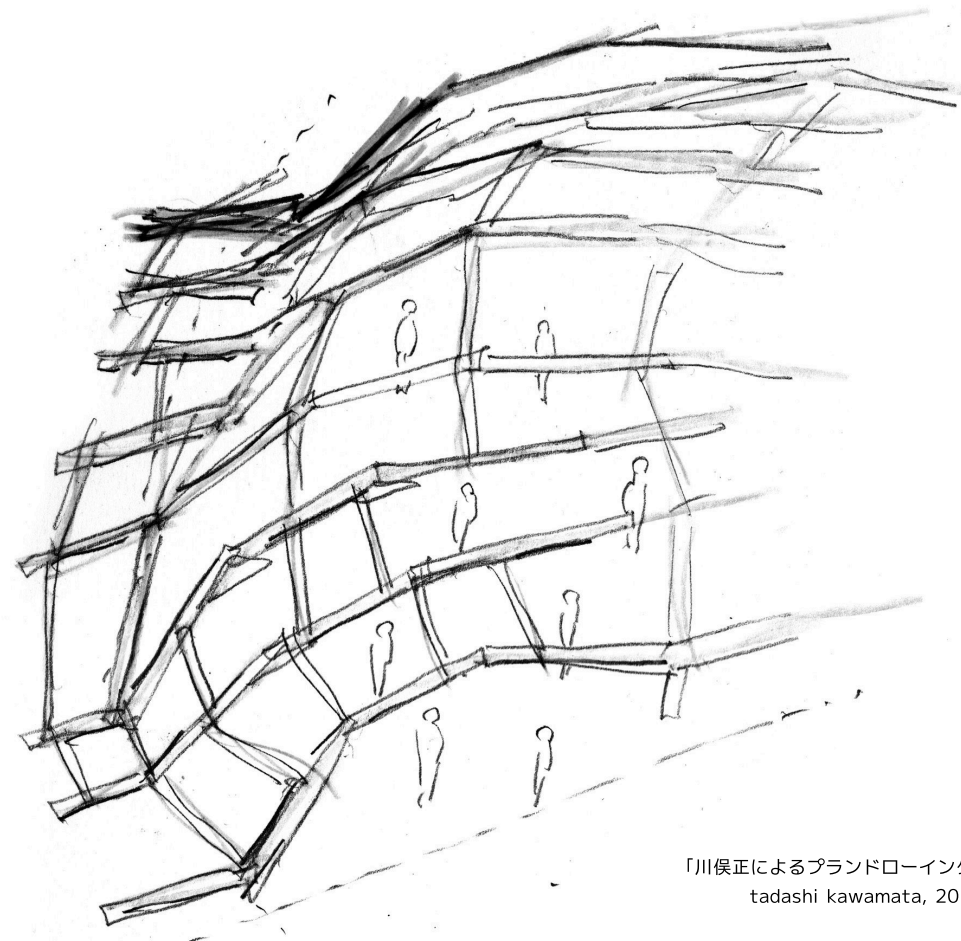
※岩見沢バスターミナルより、中央バス三笠線にて「美園市民センター」下車（所用約 35 分）徒歩約 3 分
※中央バス 三笠線：平日は 30 分に一本間隔で運行。土日祝は 40 分間隔。片道約 500 円程度。

参加を希望される方は、動きやすい格好にて当日直接会場までお越し下さい。不明点やお問い合わせにつきましては以下ウェブサイト「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

北海道インプログレス HP（「川俣正 北海道インプログレス」実行委員会・三笠ふれんず）
<http://hokkaidoinprogress.jimdo.com>

川俣正 / tadashi kawamata

北海道三笠市出身。28 歳でヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれ、その後もドクメンタなど、世界的に高い評価を獲得し続け、2005 年には、横浜トリエンナーレの総合ディレクターを務める。また、東京藝術大学が革新的な試みとして設置した「先端芸術表現科」の立ち上げに主任教授として着任。既存の美術表現の枠組みを超えていく試みを実践してきた。現在はフランス、パリ国立高等美術学院の教授。建築や都市計画、歴史学や社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまで及ぶ分野とかかわり、海外でもっともよく知られている日本人アーティストのひとり。パリ在住。



「川俣正によるブランドローイング」
tadashi kawamata, 2011